

要返信

※回答済みの調査票3枚を返信用封筒に入れて7月10日(月)までにご投函ください

2 市協議会に関するアンケート調査票

回答日: H29年7月5日 議員氏名 石川 貴久雄

※問いに対して最もあてはまる番号に丸を付けてください

問1 小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会(以下・2市協議会)の協議の進捗状況についてどう思いますか(複数回答可)

- 1 満足している
- 2 どちらともいえない
- 3 満足していない
- 4 その他(自由記述)

■その理由をお書きください(概ね100字以内・別添可)

別添

問2 仮に南足柄市が合併する場合、最適な枠組みについてどう思いますか(複数回答可)

- 1 小田原市と南足柄市
- 2 県西地域2市8町
- 3 足柄上地域1市5町
- 4 その他(自由記述)

問3 現在の南足柄市は将来にわたり単独市として存続できると思いますか

※「将来」とは新卒職員が定年を迎える40年程度先を目安とします(複数回答可)

- 1 存続できる
- 2 存続できない
- 3 どちらともいえない
- 4 その他(自由記述)

■その理由をお書きください(概ね100字以内・別添可)

別添

問4 南足柄市長は、2市協議終了後に市民説明会を行い、市民の声を踏まえ中心市のあり方に関する政治判断を行う考えを議会定例会で示しています。

この政治姿勢を支持しますか（複数回答可）

- 1 支持する
- 2 支持できない
- 3 どちらともいえない

④ その他（自由記述）

■その理由をお書きください（概ね100字以内・別添可）

別添

問5 今後、法定協議に進むことについて、現時点でどう思いますか（複数回答可）

- 1 法定協議を行うべき
- ② 法定協議を行うべきではない
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（自由記述）

■その理由をお書きください（概ね100字以内・別添可）

別添

問6 市民の意向確認について、どのような方法が良いと思いますか（複数回答可）

- ① 住民投票
- 2 アンケート調査
- 3 国勢調査と同様の調査
- 4 その他（自由記述）

問7 仮に合併した場合の中核市への移行についてどう思いますか（複数回答可）

- 1 中核市に移行すべき
- ② 中核市に移行すべきではない
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（自由記述）

問 8 2市協議会の市民の認知度についてどう思いますか（複数回答可）

- 1 十分に認知されている
- 2 概ね認知されている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり認知されていない
- 5 全く認知されていない
- 6 その他（自由記述）

問 9 平成 31 年の南足柄市長選挙、南足柄市議会議員選挙では「合併の是非」が争点になると思いますか（複数回答可）

- 1 争点になる
- 2 争点にならない
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（自由記述）

問 10 小田原市と南足柄市が想定通り「編入合併」した場合、合併と同時に南足柄市議は失職します。これまでの想定では南足柄選挙区（定数 6）で議員増員選挙が実施されます。現時点での選挙に立候補する意向はありますか（複数回答可）

- 1 その際は立候補する
- 2 その際は立候補するかもしれない
- 3 どちらともいえない
- 4 その際は立候補しない
- 5 その際は立候補しないかもしれない
- 6 まだ考えていない
- 7 その他（自由記述）

■その理由をお書きください（概ね 100 字以内・別添可）

別添

ご協力ありがとうございました

問1

- 資料内容・進め方が合併ありきの会長・事務局主導。
- 事前の資料配布時期が遅いため、各団体が事前に意見交換・集約できない状況で協議会に出席。
- 小田原市単独での中核市申請を考慮したスケジュールであり、じっくり・十分に検討する気が会長・事務局にないと思う。

問3

- 40年先の社会情勢の小生の想定(超難しい)。
- ・国・地方とも、財政は超緊縮、低負担・高福祉政策破綻。
 - ・コンパクトシティ化せざる得ず、公共施設も集約。
- (例:市域に幼小中一貫校一つ)
- 上記のため、新市でも単独でも、存続は、ほぼ同じ困難さ。
単独存続不能の場合、大広域的な合併必要。

問4

南足柄市長の考えも、ひとつの選択肢とは思うが。
小生が市長ならば、「2市協議終了後に自身の合併賛否を、論拠を示して表明。
その後、市民へ十分に説明をした上で、住民投票を行う。
住民投票結果が自身の賛否と異なるときは、辞職する。」

問5

合併に反対のため。
合併反対の理由を簡潔に言うと、メリットよりデメリットが多い。
&肝要な部分での検討不十分。

問10

当該選挙で当選しても、新小田原市の議員になれば、当然全市域での知識・情報収集、議員活動が必要で、再スタートです。
プロフェッショナル議員をめざす気力・知力・体力に自信が持てません。
合併に反対で、新市の議員になることにも抵抗感あり。